

基山町

No.78

令和3年第2回定例会

6月議会

基山町議会 検索

町議会ホームページ

<https://www.town.kiyama.>

[lg.jp/gikai/](https://www.town.kiyama.)



議会だより

内科・循環器内科
整形外科
産婦人科（人工透析）
診療時間
平日：9:00～13:00
14:00～17:00
土曜日：9:00～13:00
〒780-0801 基山町大字1-1-1
TEL 0878-21-1111
FAX 0878-21-1110
基山町立 西予基山総合病院

【特集】

県内でいち早く接種開始！
期待されるワクチン効果

きやま鹿毛医院にて

マスクの中は笑顔

令和3年7月31日発行

県内でいち早く接種開始！



無料送迎バス運行継続決定

集団接種日に会場までの移動手段として無料で利用できます。乗降の際ワクチン接種券を運転手に見せてください。

運行状況についての問い合わせは
定住促進課 Tel 92-7920まで

基山町は、新型コロナウイルスワクチン接種を65歳以上（5729人）の高齢者を対象に、きやま鹿毛医院にて県内でいち早く、4月25日より集団接種を開始した。

また、5月24日からは、町内の7医療機関で個別接種も開始されており、順調に接種事業は経過している。

これまで、5065人

（88・4％）の方が予約し、7月末までに2回目の接種を終了できることになっている。その接種率は県内で現在2番目に位置している。

毎週開いている集団接種会場では、役場の職員を中心に医療機関の方々などが対応にあたり、1日に450人の接種が行われていた。

（7月4日現在）

闘病体験語る 自宅療養の怖さを痛感 感染防止体制の強化を

同居家族の陽性が判明した。私は陰性であったが、濃厚接触者として外出等の自粛を要請された。自宅療養中、37度前後の微熱が続き身体の変調を感じていた。再検査の結果、陽性が判明。感染症指定医療機関へ肺炎のため入院となった。

徐々に身体を蝕んでいた頃の自宅生活では、運動量は少なく症状は軽いものであった。病院へは自分で車を運転し向かった。歩き始めるとせきが止まらず動けなくなった。

検査室には車いすで移動し、肺炎と診断された。

思いもよらないこの肺炎の進行の速さ

と、自宅療養の怖さを痛感した。とにかくせきがひどく、ちょっとした移動に数十分かかるほど。だだの肺炎ではないことを思い知った。

今でも、以前の体調には戻らず、血糖値が高い状態が続いている。

「感染しないことが最善。ワクチン接種の効果を期待し、一刻でも早く感染防止体制の強化を」

新型コロナ闘病を体験した者として、強く訴えた。

（基山町在住 男性）

なかなか聞くことができない貴重な体験談です。

期待されるワクチン効果



①受付 ワクチン接種券の確認



②予診票チェック



③医師による問診
心配な方はここでも相談ができます



④ワクチン接種
やや緊張気味での接種



⑤接種済証発行
接種券と問診票を提示



⑥待機室
接種後15分間程度、体調の確認後帰宅

ワクチン接種を終えて

- 1回目の接種は多少の痛みはあったが問題なかった。今回の接種についても、至れり尽くせりでありがたい。基山町のワクチン接種の取り組みは素晴らしく、スタッフの対応にはとても満足している。(16区 70代 男性)
- 2回目の接種後、夕方より38度の熱が出る。翌日から解熱剤を服用して3日目に平熱に戻った。先に接種した数人から、「何も発症しなかった」と聞いていたので、熱が出たことに驚いた。(9区 60代 女性)

※ワクチン接種後の副反応は個人差があるようです。
※心配な方は、かかりつけ医もしくは問診時の医師に相談しましょう。

今後の接種の取り組み

国の示す優先順位も視野に入れ、基礎疾患を有する方、高齢者施設等従事者、60歳から64歳の方、町内小中学校・保育園等の教員、保育士等の方、12歳から59歳の方へと移行し、国のワクチンの供給が順調にあれば年内に接種を完了したいと事業を進めています。

基山町議会の取り組み

国の方針が刻々と変わる中、スムーズな接種事業に努める町執行部と一体となって、町民目線で課題解決に向け取り組んで参ります。(柴野 久明)

第1回臨時会（4月19日～20日）の採決結果

議案番号	議 案 名	議 員	採決結果
同意 1	基山町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	全会一致	同 意
承認 2	専決処分の承認を求めることについて（税条例等の一部を改正する条例）		承 認
承認 3	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度一般会計補正予算（第11号））		
議案16	令和3年度一般会計補正予算（第2号）		可 決
議案17	令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		

一般会計 1億7054万円追加

■主な事業

プレミアム付商品券で消費喚起

- ・消費喚起型 1冊額面1万1千円を1万円で発売。
- ・飲食店応援型 1冊額面6500円を5千円で発売。
- ・小規模事業者応援型 1冊額面7千円を5千円で発売。利用期間は来年1月31日まで。事業費1億1千万円。

テニスコートトイレ洋式化

男女3器の和式を洋式2器、和式1器へ改修。
事業費115万円。

若基小学校屋外トイレ洋式化

男女トイレ5器を改修、事業費275万円。

500人にPCR検査

総合健診のうち特定健診受診者の中から500名をPCR検査キットで検査する。個人負担なし。

中小企業の売上減、家賃補助を継続

基山町中小企業者事業継続緊急支援金として最大30万円支給。事業費1680万円。

テイクアウトに支援金

売上が減少した飲食店などの経費に上限5万円支給。事業費150万円。

第2回定例会（6月4日～11日）の採決結果

議案番号	議 案 名	議 員	採決結果
議案18	第5次基山町総合計画基本計画の変更について	全会一致	可 決
議案19	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について		
議案20	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		
議案21	重度心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部改正について		
議案22	県営土地改良事業負担金に係る分担金徴収に関する条例の一部改正について		継続審査
議案23	町営駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について		可 決
議案24	令和3年度一般会計補正予算（第3号） ※議案第22号の継続審査により関連部分を修正		一部修正 可決
議案25	令和3年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）		可 決
議案26	令和3年度下水道事業会計補正予算（第1号）		

一般会計 2億572万円追加 予算総額 75億3229万円に



危険な町道長野1・2号線

基山^{きざん}山頂に自生している「オキナグサ」

■主な事業

高齢者ワクチン接種7月完了

65歳以上のワクチン接種は7月末で終了し今後16歳(※)～59歳の基礎疾患を有する方、60歳～64歳に拡大していく。集団接種会場へのコミュニティバスは引き続き運行する。事業費2816万円。 ※現在は12歳からとなっています。

基山小学校3教室増設

35人学級の影響と児童数の増加で、今年度改修を行う。事業費6435万円。

希少植物「オキナグサ」を発信

基山(きざん)山頂に自生する「オキナグサ」を保護し、町内外に発信する。事業費66万円。

基山町キャンプ場を改善

平成3年にオープンしたキャンプ場の利用促進を図るために、改善改良のための提案を受ける。事業費100万円。

低所得の子育て世帯に特別給付金

新型コロナが長期化するなか、ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯に生活支援を行う。児童1人当たり5万円支給。事業費1445万円。

町道長野1・2号線水路に蓋

この町道は通学路で、道幅も狭く深い水路で危険なため、水路蓋掛け、カラー舗装を行う。事業費2750万円。

重度精神障がい者にも医療費助成

今年4月より精神科への通院、精神科以外への通院、一般病床への入院の費用が助成される。事業費122万円。

マスメディアで基山町PR

基山町の歴史や文化を福岡県などに発信し、観光客の増を目指す。前年度はKBCで放映。事業費750万円。

国民健康保険特別会計

35万を追加
予算総額20億2617万円に

下水道事業会計

補正予算7187万円を追加
支出総額は9億5610万円に

請願書は閉会中の継続審査

亀の甲ため池水利組合から提出された「請願書」は十分な審議を要するため、継続審査とした。

基山小学校3教室を増設

審査、調査
の担当課

総務企画課・財政課・税務課
まちづくり課・出納室・教育学習課

総務文教常任委員会

第2回定例会 議案審議

第5次基山町総合計画基本
計画の見直し

問 第5次総合基本計画
の変更ポイントは。

答 今回の変更は、まち
づくりの10年計画を
中間年度で見直すもの。令
和2年に行った町民満足度
調査を重視し「防災意識の
啓発活動や防災教育」、「様々
な状況に応じた避難所運
営」、「一人暮らし高齢者の
実態把握とサービス提供」、
「様々な感染症に対する迅速
で適切な対応・対策」を追加
した。今後も重要度が上昇
している項目については、
総合計画審議会で充実させ
ていく。

提案 緊急かつ重要な課題
は町民の声を反映し、町も
町民に訴える計画目標を組
み入れること。

一般会計補正予算

参画市町村シティプロモ
ーション共同基盤事業負担金
500万円

問 負担金の具体的内容
は。

答 国内で恋人の聖地の
ある18市町村が共同
で行う広告宣伝活動事業の
負担金である。

問 参画のメリットは。

答 市町村独自で事業選
択ができる幅広い地
方創生推進交付金事業であ
る。

問 補助金の有無が事業選
定の基準になるのか。

答 実施したい13事業を
精査採択したもの。



キャンプ場運営改善業務も交付金対象に

提案 事業費の多くが委託
費である。自前でできるも
のは自らが行うこと。

基山小学校大規模改造事業
6435万円

問 教室増設には限界が
ある。若基小学校の
小規模特認校制度は解消策
にならないのか。

答 さまざまな方策を検
討する。校舎の増築
は最終手段である。

提案 現行校舎の改修のみ
ならず、若基小学校の活用
や基山小学校敷地内の教室
増設など、抜本的な取り組
みを講じていく必要がある。



児童数が増え続ける基山小学校

所管事務調査

防災用備品の整備

豪雨災害が増加傾向にあり、
防災用備品の種類、保有量も増
えている。町民会館東側に防災
倉庫が建設された。
当委員会は、備品一覧、災害
時の民間企業との協定一覧、運
用方法と今後の計画を明確に町
民に示すよう提案した。

多目的運動場に休憩所

休憩所は、運動場利用中に起
きる熱中症や急な雷雨など、さ
まざまな気象変化に対応できる
屋根付き施設である。5段の階
段式形状となっている。
当委員会は、総合公園多目的
運動場は幼児から高齢者が使い
勝手の良い施設とするために、
周辺住民への配慮、利用者のマ
ナー順守を徹底するように提案
した。



休憩所

町道長野1・2号線の改修

厚生産業常任委員会

審査、調査
の担当課

住民課・健康増進課・福祉課・こども課
産業振興課・定住促進課・建設課

第2回定例会 議案審議

基山町重度心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部改正

問 今回の改正内容は何か。

答 県の補助金交付要綱が改正され、新たに重度の精神障がい者（1級に該当する者）を医療費助成の対象者として拡充された。対象範囲は、精神科への通院、精神科以外への通院、一般病床等への入院となる。ただし、精神病床への入院医療に要した費用については対象外である。

問 医療費助成の支払い方法は、現在、償還払いとなっているが、現物給付に移行できない理由は何か。

答 県は医療機関での支払いの混乱を防ぐため、県内一律に移行させることを考えている。しかし、他市町によっては医療費の増加を懸念する声や、国庫負担金の減額措置があるため、統一することが難しい状況にある。

提案 医療費の支払い方法について、他市町と十分協議を行い、現物給付に早期移行できるように取り組むこと。また、医療費助成の範囲についても、対象者へ分かりやすい説明を行うこと。

一般会計補正予算

町道長野1号線、長野2号線交通安全施設工事
2750万円

問 町道長野1号線のカラー舗装（延長368m）と町道長野2号線の水路蓋掛け、カラー舗装（延長250m）等の施工となっている。

当該道路は、幅員が狭い箇所や配管工事跡などにより舗装面の状態も悪い。一体的な道路整備計画を立てて整備する必要があるのではないか。

答 補修等は同時に実施していきたいが、幅員拡張、舗装整備に関しては、現在、管理計画を立案中であり、その中で進めていきたい。

提案 道路の一次的、部分的な改修工事では、地域住民の方々に不満を募らせることになるので、今後、分かりやすい説明を行うこと。



舗装が劣化した町道長野2号線

予防費 委託料

2816万円

問 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種状況はどうか。

答 現在65歳以上の接種予約状況は約85%である。今後は16歳（※）から59歳までの基礎疾患があり接種を希望する方や、60歳から64歳までの方に接種を拡大していく。また、接種者への貸切バスは今後も継続していく。

※現在は12歳からとなっています。

提案 各対象者別の申請および接種開始日など分かりやすい案内に努め、65歳以上で未接種者に適切な配慮を行うこと。

所管事務調査

林道の災害状況を確認

林道の11カ所が被災した令和2年7月豪雨は激甚災害に指定された。そこで、被災現場で進捗状況を確認した。のり面や路肩崩壊の復旧事業は2件が現在も工事中で、町単独の修繕事業も2件が未着工であった。

当委員会は、未完了の工事は計画通りの進捗を図ること。側溝の定期的な清掃を行い、地権者へ森林整備の啓発および高齢化や担い手不足などから、森林環境譲与税の有効な活用計画を立て、防災・減災へ繋がる管理を行うよう提案した。



復旧中の崩落現場

一般質問 全員が町政を問う

一般質問とは、議員が町政について調査・研究した事柄を自由に質問することをいいます。

今回の一般質問は、平日の傍聴が難しい方のことも考慮し、6月5日(土)、6日(日)に休日議会として開催しました。



傍聴記

休日議会初日(土曜日)に地元選出議員の一般質問に合わせて傍聴に行きましたが、その場で傍聴記の依頼を受けた次第です。その時の他の傍聴者の顔ぶれを見廻すと、現役世代と思われる方は残念ながら皆無で、少なくとも私より年配の方が7名のみでした。せっかく休日議会を開催しているのに少々がっかり…

私自身は現職で在職している頃から休日議会のある時にできるだけ傍聴するように心掛けていましたが、年を追うごとに現役世代の政治や議会への関心が薄れていっているのではないのでしょうか？

町に対する要望や提案等を議員からもっと積極的に(特に若い層の方々に)呼び掛けてそれを議題に取り入れる工夫、改善が必要だと思います。

(15区 60代 男性)

元区長と元議員の誘いを受け議会の傍聴に初めて足を運んだが、コロナ禍の中、傍聴者が多いのには驚いた。施政運営方針、環境問題、道路整備計画など、さまざまな視点で質問、提案がなされ、議員の事前勉強が感じられる一般質問だった。それに対し、町長、執行部から丁寧な回答がなされた。

基山町は、地方自治体として自らの責任と権限で町の運営をしていかなければならず、その車の両輪が町長と町議会になる。

少子高齢化に伴って増大する公共サービス費用、その一方で益々厳しくなる財政、これらの問題に対し執行部と議会は適切な緊張関係を維持しなければならない。

地域住民の福祉の増進を図っていくためにも、行政と議会はそれぞれの使命により、町民の負託に応えるべく頑張ってもらいたい。

(12区 60代 男性)

少し緊張しながら傍聴席に座りましたが、女性の傍聴の方がいらして安心しました。町長以下、各課関係の職員がコロナ禍の議会に大きな荷物が見え隠れの状況…、質疑応答の空気を感じました。生活周辺の質問ばかりと思っていたのですが、山林関係の件は、想像以上の苦労が理解できました。

6日は、コロナワクチンの集団接種と同日にて、開会前に町長は接種会場に足を運ばれた様子の報告にて始まりました。身近な質疑応答進行と細やかな説明と思いました。何が大事かと優先順位を重視してしっかりと検討方よろしくお願い致します。自分にある二眼、耳足を充分に使って町政に、そう思うのは私だけでしょうか？

町長の「オール基山!」この言葉大好きです。連携プレーを生かし、穏やかな暮らしができる基山を念じます。終わりにちょっと残念なことは議会中に議員の一部の私語が目に入りました。これは気を付けて下さい。

(11区 70代 女性)



問 教育プランの住民への周知は
答 ダイジェスト版を作成する



河野 保久 議員

問 4月1日に「教育プラン」を公表した意図は。

答 学校は4月から翌年3月までの各年度を大きい区切りとして教育活動を行う。3月までに作成して教育委員会から学校に示すことで、プランの内容を意識して1年間の学校経営を行ってもらいたいと考え、この時期の公表とした。

問 生きる力を育む学校教育の充実を目指す上で、力を入れていく施策は。

答 一人一台端末の導入は、教育現場にとって大きな変化であり、改革といえる。学習のツールのひとつとして端末を有効に活用し、教育の充実につなげたい。

問 昨年はエレベーター、トイレといったハード部門の教育環境の充実に力を入れていた。本年度はどのような施策を考えているか。

答 「連携体制」の取り組み事項



生徒数417人 基山中学校

として挙げている学校運営協議会、コミュニティ・スクールの円滑な実施に力を入れたい。

問 GIGAスクール構想の今後の展開をどう行うのか。

答 ようやくスタートを切った段階で、本格的な活用はこれから。端末を使用した学習が積極的に行われるようにしていきたい。

問 教育プランの周知策は。

答 昨年度未実施のダイジェスト版の作成を行う。



問 生理用品学校トイレ常備を
答 学校保健室に常備している



松石 信 男 議員



保育士にワクチン接種

問 長引くコロナ禍で生活困窮が広がる中、「生理の貧困」が社会問題になっている。女性の心と体の健康のために、公共施設や学校のトイレに生理用品を常備し、保健室での無償提供を提案する。

答 小中学校の保健室に生理用品は常備していて、必要な児童生徒には配布している。「保健だより」でさらに周知を図る。

問 政府は生理用ナプキンなど配布している自治体が255で、公

共施設や学校や公衆トイレに置かれていると5月に発表。これらを参考に支援方法を検討すべきだ。

答 他自治体の例を調査検討する。

保育士、教員等ワクチン接種

問 高齢者接種と並行して保育士や児童福祉施設職員も接種を検討すべきだ。

答 保育士には保育園に出向いて、7月をめどに接種を開始する。

生活保護は権利
ためらわず相談を

問 コロナ禍で国民の暮らしが崖っぷちだ。国民の最後のセーフティネットとしての生活保護の受給資格とは何か。

答 生活保護は権利。①住所不定の人も申請可能②仕事をしていても、年金があっても利用できる③失業で働けない人も受給できる④不動産があっても申請できる。



問 亀の甲ため池 町への移譲は
答 移譲することで合意



鳥飼 勝 美 議員

問 被災した亀の甲ため池の、水利組合から町への移譲は。

答 令和2年12月のため池移譲に関する基本合意で町への移譲で合意する。



町への移譲が合意された亀の甲ため池

問 町道用地内にある個人名義の登記の解消を図るべきでは。

答 今後調査して、個人名義から町への所有権移転等を実施していく。

問 町の嘱託登記等に必要な印鑑証明書等の費用は。

答 登記に必要な印鑑証明書等の費用は公用申請で無料。

問 公共工事計画室の業務とは何か

問 新設された、公共工事計画室の業務とは何か。

答 公共施設等総合管理計画、道路計画等の計画的な整備計画を策定する。

問 町の公有財産の取得に伴う登記の現状は

問 この公共工事計画室の職務は、全庁的で総合的な整備計画となるため、室長の強い職務権限が必要ではないか。

答 町が嘱託登記として実施している。

答 今後、計画室の課等への昇格も考えていく。



問 高齢者の支援はいかに行うのか
答 まずは体制整備を図る



栗野 久 明 議員



利便性向上が望まれるコミュニティバス

より年4回実施され、社会福祉協議会を通して個々の状況報告を受けている。その報告の内容により、支援を検討する必要がある世帯には、町の方から見守り個別訪問を実施し、必要なサービスにつないでいく。

問 地域公共交通の利便性向上についての取り組みは。

答 利便性の向上を図ることは必須と考えている。コミュニティバスのバス停の位置や運行ルートなど、利用ニーズに合わせた見直し検討を行うほか、地域交通計画を策定し、その実現に向け取り組んでいく。

問 コロナ禍の中、教育現場の取り組みは

問 児童生徒のメンタル面が心配される。その対応はどのように。

答 不安を抱える児童生徒のメンタルヘルスに配慮し、教育活動の支援をしたいと考えている。

問 社会福祉協議会および民生委員との活動の連携は。

答 個別訪問は、民生児童委員に



問

農業用水路の安全対策を
防護柵等の設置を検討する



品川 義則 議員

問 3区内での住宅開発で農業用水路の危険性が増しているが、安全対策は取れないのか。

答 従前から千塔地区の水路については要望は上がっているが、農業用水なので蓋をした用水路にはできなかったが、この程水利権者の皆様のご了解を得たので、転落防止の防護柵等の設置を検討し安全対策を取っていく。



千塔地区の用水路

基山小の教室の配置について

問 教育長の基山小の教育施設についての所見は。

答 地元の良質な木材をふんだんに使った校舎に電子黒板なども

整った自慢できる素晴らしい教育施設である。児童数の増加によって教室配置に難しい部分があり、少人数指導などの多種多様な教育活動に不便な部分が生じている。

問 現在21クラスで、来年度は24クラスを予定して大規模改造工事を行う予定だが、今後の最大クラス数は26、27となり、特別支援学級を含めると教室が不足するのではないか。

答 現在の施設を見直すことによって対応していく。

問 絶対数の教室が不足しているのは明らかなので、学童保育施設「ひまわり教室」、旧基山保育園園舎を含めた全体の教育施設として見直すべきではないか。

答 児童の増加数を再確認し、教育委員会と連携をとって、子どもたちが幸せになれるようにいろいろな方策を協議していく。



問

不登校に適応指導教室の設置を
前向きに設置を検討する



大久保 由美子 議員

問 フリースクール等に通う不登校児童生徒の経費を、保護者の負担軽減のために助成できないか。

答 不登校児童生徒を抱える家庭は、ストレスや不安だけでなく、経済的負担も重いことから支援体制をさらに充実していく。

問 県内17市町は、学校以外で不登校児童生徒が通える適応指導教室を設置している。しかし、本町に設置していないのは問題である。早急な設置を提案する。

答 対応すべき課題だと認識している。前向きに検討していく。

フリースクールとは、不登校の子どもに、学習活動、教育相談、体験活動などを行っている民間施設。

適応指導教室とは、不登校の子どもが通いやすい学校以外の教育機会を確保するために、公立の教室を設置する。

林道、河川の災害対策と管理は



崩落現場の復旧工事完了

問 昨年の林道災害件数と復旧工事費および災害の要因は。

答 工事は5カ所で1億945万円。集中豪雨の発生頻度が多く保水力を超える降雨量から、のり面や路肩崩壊が発生。また森林管理不足も要因の1つで、今後は森林管理制度の実施推進を強化する。

問 令和3年度の河川の浚渫工事計画は。

答 高原川が現在実施中で、その後は実松川の旧基山保育園の上流を計画されている。



問 児童公園に健康遊具を
答 住民の意見を伺い検討



松石 健 児議員

生活習慣病や認知症の予防に

問 多目的運動場南側の広場に設置されているような健康遊具の一部を、児童公園（小規模児童遊園）18カ所に、児童遊具と併せて設置できないか。

答 公園の面積によっては設置できない場合もある。



健康遊具で ちょいトレ

問 多目的運動場は遠い。町では生活習慣病の予防や高齢者の筋力向上、認知症予防策に前向きだ。通いの場だけでなく、個人でも運動できる環境が必要だと考える。児童遊具の利用は12年間程度。健康遊具は40歳からの利用だと、30年間以上利用できるかと考えるが。

答 各地域住民の意見を伺い検討したい。

既存住宅団地の環境維持を

問 新規宅地開発区域では、区画それぞれに一定面積以上確保する

規制があるが、既存の住宅団地は建て替えの際、建ぺい率、容積率などが問題なければ、敷地面積の規制がない。敷地が分筆され、周辺の既存住宅を圧迫するような狭小地住宅建設を容認することにならないか。

答 建築基準法に適合していれば規制することはできない。敷地面積規制は、団地住民の総意による要望があれば検討する。

その他の質問

公共性の高い私道の管理は。



問 急傾斜地の防災減災対策は
答 補助金制度の活用を周知していく



天本 勉 議員



立木が伐採された急傾斜地

問 町内に、対象地はどれくらいあるのか。

答 急傾斜地に係るレッドゾーンが152カ所あり、この区域内に家屋が70カ所存在する。事前調査の結果、43カ所について何らかの防災減災工事が必要であると判断している。

問 行政区ごとの状況はどうか。

答 1区9カ所、2区11カ所、3区2カ所、4区15カ所、6区8カ所、10区3カ所存在する。

問 対象者への周知と今後の防災減災をどう推進していくのか。

答 急傾斜地カルテを作成し、全ての自宅を訪問し、家屋周辺の状況と補助金制度などの説明を行った。現在、数件の問い合わせを受けており、今後、補助金制度の活用を周知し、安心安全に暮らせるまちづくりを推進していく。



問 町の環境を守るためには

答 町民との役割分担を再考する



中村 絵 理 議員

問 基山町の環境課題は何か。

答 地球温暖化対策、騒音・振動、ごみの減量化・リサイクル、植物等の保護、飼い犬・野良ネコ等のふん害、ポイ捨てを含む不法投棄、ごみ収集所問題など。

問 基山町空き缶等の散乱防止及び環境美化に関する条例、犬取締条例、猫のふん尿対策などを広報誌等で町民の方々に周知する必要があるのでは。

答 猫のふん尿対策は広報の準備を進めている。また、動物愛護法が改正され動物を適正に飼養するための規制が強化された。併せて周知して行きたい。

問 保育園、小・中学校で個々の環境保全に対する意識を向上させる取り組みを工夫できないか。

答 今年度からの新学習指導要領では、環境問題が国語、道徳、英語等にも扱われている。主体的に

学び、自ら調べ考える環境を育んで行きたい。

問 今後、基山町環境基本計画を策定する際に、美化推進員や美化活動ボランティアの方々の意見やアイデアを反映する場を設けることはできないか。

答 策定前にはワークショップ（研究集会）等を開催する。その際にお声をかけさせていただき意見をお聴きする場を設けたい。



ポイ捨ては環境汚染の第1歩



問 道路整備の優先課題は何か

答 交通安全対策を最優先で取り組む



末次 明 議員

問 国道・県道の整備に町の要望をどのように伝えているか。町民の道路整備に対する要望はどう管理しているか。経過や結果が気になる。

答 歩行者の安全確保に繋がる交通安全対策を道路管理者へ直接要望を行っている。短時間で終わらないものは時系列でデータとして管理している。

問 町道整備の優先順位はどうなっているのか。町民が道路整備を要望したい時の手順は明確か。

答 道路の修繕は路面の劣化や損傷状態、地元要望、交通量などを総合的に勘案して決めている。のり面草刈り、街路樹剪定については職員が現場を確認して緊急性の高い順番に処理している。

町民要望はまちづくり提案書により受け付けている。

問 町道のり面は誰が管理するのか。隣接の農地管理者の高齢化、後継者不足が深刻化し対応できなくなる。

答 町の管理だが隣接の農地管理者にお願いしたい。

オキナグサ保護強化に取り組み

問 オキナグサは基山（ぎざん）山頂に自生する絶滅危惧植物である。基山町の草花に指定しよう。

答 現段階では制定は難しい。まずは町民の皆さんと共に保護活動を行い、町内外へ発信し啓発すると共に町民の意識を深めていく。



オキナグサの観察



問 ジェンダー平等と男女共同参画とは

答 方向性は共通している

大山 勝代 議員



佐賀市アバンセ玄関前

問 第1次から10年を経て今回第2次の「基山町男女共同参画推進プラン」が策定された。目標の検証はどうされたか。

答 「基本法」の認知度は目標達成したが、「社会通念・習慣・しきたりなどにおける男女の平等感」では達成できなかった。

問 人権問題としてジェンダー平等実現が世界共通の流れだが、日本の男女共同参画推進は取り組みが遅れているように思うが。

答 SDGs「ジェンダー平等」の考え方は策定プランと同一で、

方向性は共通している。

問 今後このプランで町民にどう意識の向上・啓発を行っていくか。

答 町のHPや広報・セミナー開催・出前講座などで広めたい。6月1日号広報で関連内容を載せている。

校則見直しの検討は

問 佐賀県教育委員会から校則見直しを求める通知が出されたが、内容はどのようなものか。

答 校則を見直す時、「子どもの人権を侵す可能性がないか」「校外の私的な活動まで関与していないか」「社会で必要となる規範意識の醸成のためになるのか」など。

問 基山中では生徒たちと一緒に見直しをしているか。

答 生徒たちの意見を聞き取り、教職員で協議している。

意見書等の結果

基山町の公益に関する事柄について、国会や関係行政庁に対して議会の議決に基づき意見書を提出することができます。詳しくは事務局にお尋ねください。

区分	件名	内容（概略）	結果
意見書	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	地方自治体が計画的に教育行政を進められるよう、少人数学級を中学校・高校まで拡充するなど、さらなる教職員の定数改善を行うこと。また、教育の機会均等と水準の維持向上のため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に引き上げる措置を講じることを要請する。	採択 (全員賛成)
	東京オリンピック・パラリンピックを中止し、新型コロナ対策に全力を挙げることを求める意見書	今夏の五輪中止の決断を直ちに下し、関係諸機関との協議に入ること、国のあらゆる力を新型コロナ対策に集中することを強く求める。	不採択 (賛成少数)
請願書	亀の甲ため池に関する請願書	亀の甲ため池の改修工事に関する負担金の免除、水路改修の実施及び所有権委譲に伴う囑託登記について請願する。	継続審査
陳情書	商品軽自動車に対する軽自動車税課税免除に関する要望書	中古自動車の販売業者が販売のために所有する中古自動車業者名義で届出されている商品軽自動車に係る軽自動車税の免除措置を実施していただきたい。	全議員に配布

令和3年 第3回基山町議会定例会 会期の予定

9月6日（月）～24日（金）

一般質問 9月7日（火）～9日（木）

※この会期日程等は、状況により変更することがあります。

町議会にタブレット導入



基山町議会では、令和3年6月議会運営にタブレット端末を導入しました。

目的は業務、情報共有の効率化と議会運営のコスト削減です。今は紙の資料を併用していますが、9月の定例会からの本格的導入を目指し、ただ今、議員一人一人が猛勉強中です。

基山町議会 委員会の新構成

議長：重松一徳

副議長：大久保由美子

議会選出監査委員：天本勉

町議会

常任委員会

総務文教
常任委員会

総務企画課・財政課・税務課・まちづくり課・出納室・教育委員会の所管について審査、調査

◎ 末次明 松石信男 鳥飼勝美
○ 品川義則 中村絵理

厚生産業
常任委員会

住民課・健康増進課・福祉課・こども課・産業振興課・定住促進課・建設課の所管について審査、調査

◎ 松石健児 大山勝代 河野保久
○ 栗野久明 大久保由美子 天本勉

広報広聴
常任委員会

議会広報を編集・発行し、議会報告会などを実施する

◎ 栗野久明 末次明 大久保由美子
○ 松石信男 天本勉 中村絵理

議会運営委員会

議会運営について協議する

◎ 品川義則 松石信男 末次明
○ 河野保久 大久保由美子 松石健児

全員協議会

議案等の協議及び調整をする

全議員

◎ 委員長 ○ 副委員長

新議長あいさつ



すべては基山町民のため 基山町発展のため

基山町議会 議長 重 松 一 徳

このたび臨時議会におきまして、基山町議会議長に就任いたしました。
議長選挙の意思表示で、「すべては基山町民のため・基山町発展のため」を第一義として議会運営をおこなっていく旨の決意を述べました。

また、議員間の議論を大事にしていくこともお約束しました。

そのためにも、私たち議員が町民みなさまの輪の中に飛び込み、頂いたご意見を大事にして議論を重ね、町政に反映できるように政策提言を行っていきます。

コロナ禍の中、日常生活において疲弊されている町民みなさまに寄り添い、一日も早く平穏な生活に戻るよう町執行部・職員と連携してまいります。

最後に、町民みなさまに信頼される議会を目指してまいります。今後とも基山町議会に対してご指導ご助言いただきますようお願い申し上げます。



編集後記

笑顔の写真が撮れない

町民の明るい笑顔を「議会だより」で届けようの合言葉で編集してきたはずだった。「こめんなさい」、私が選んだ今回の特集が新型コロナウイルスワクチン集団接種、注射を打つのに笑顔はありません。

小さい子どもではないから、さすがに泣く人はいません。でも笑っていません。そのような状況下、今回の取材で表紙を飾った役場職員の熊本主幹のマスク越しに笑顔が見えませんか？一腹の清涼剤となりました、救われます。これから2年間「議会だより」の編集長を務めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

(栗野久明)

広報広聴常任委員会

委員長

副委員長

委員

栗野 久明

松石 信男

末次 明

委員

大久保由美子

委員

天本 勉

委員

中村 絵理

委員